

広報

おひ

3

Mar.2026

vol.675

鬼も逃げ出す元気な声——
節分の日の豆まき



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

喜びと感謝を胸に 小・中学校合同受賞報告会

各種コンクールや大会において、優秀な成績を収めた児童生徒の功績を称える合同受賞報告会が2月12日、イコーゼで行われました。学校関係者や保護者らが見守る中、受賞者一人一人が、受賞内容や感想を高橋宣博町長に報告。作品制作や大会出場を通して、自信がついたことや支えてくれた人への感謝、そして、新たな目標に向けての抱負などを話しました。



受賞者紹介（順不同）



醸芳小1年
ももな
飯沼 百々奈 さん

第57回福島県児童作文コンクール

－佳作－

楽天イーグルスの試合の応援に行っておもしろかったことを書いた作文が佳作に選ばれてとても嬉しいです。作文を書くのが好きなので、これからも楽しかったことをたくさん書いていきたいです。



醸芳小2年
あやね
須田 絢心 さん

第57回福島県児童作文コンクール

－佳作－

夏休みに家族でカルチャーパークに行き、プールで浮き輪をひっくり返し合って遊んだことなどを書きました。家族の楽しい思い出を書いた作文で賞をいただけたのがとても嬉しいです。



醸芳小5年
あき
吉田 晶輝 さん

福島県算数・数学ジュニアオリンピック

－奨励賞－

夏休みから過去問をたくさん解いてきたこともあり、本番の内容は想像していたより難しくありませんでした。来年はもっと上の賞を目指すために、今後も練習に励んでいきます。



睦合小5年
あゆさ
佐藤 彩結咲 さん

第71回青少年読書感想文 福島県コンクール

－佳作－

広島平和記念資料館設立者・長岡省吾の物語「ヒロシマをのこす」を読み、犠牲者の声を伝えたいという強い意志を感じました。私も平和のために戦争の悲惨さを伝える役割を果たしたいと思いました。



睦合小6年
りん
佐藤 凛 さん

第57回福島県児童作文コンクール

－佳作－

平和学習で訪れた広島平和記念資料館で、苦しみや悲しみを深く感じました。未来の平和を願い書いた作文が多くの人に伝わり嬉しく思います。今後も、学んできたことを多くの人に伝え、平和を築いていきたいです。



半田醸芳小1年
ハンダー8 代表
ひかり
紺野 陽花理 さん

みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト (長なわとび)

－小学校9人以下1年生部門 第1位－

練習を始めて最初の記録は58回でした。頑張れば1位になれると信じて練習を続け、大会では169回跳ぶことができました。これからもみんなで力を合わせていろんなことに挑戦したいです。



半田醸芳小2年
りん
津田 凛 さん

みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト (短なわとび)

－前回し跳び小学2年生部門 第2位－
－二重跳び小学2年生部門 第2位－

本番では引っかかって諦めずに跳び続け、前回し跳びは218回、二重跳びは58回跳ぶことができました。県内の小学生の中で2位という記録を出せたことがとても嬉しく、これからも新しい技に挑戦していきたいです。



半田醸芳小2年
ひまり
丸山 陽麻莉 さん

みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト (短なわとび)

－後ろ回し跳び小学2年生部門 第3位－

学校や冬休みの間、毎日コツコツ練習をし、早く跳べるようになりました。コンテストでは女子1位でしたが男女混合では3位だったので悔しかったです。来年は200回以上跳んで1位をとりたいです。



半田 釀芳小5年
安彦 朱叶 さん

みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト (短なわとび)

－後ろ回し跳び小学5年生部門 第1位－

学校や家などでたくさん練習をしてきました。前の記録より多く跳ぶことを目標に、毎回自分の跳び方を反省しながらコンテストに臨みました。来年は、もっと良い記録を出せるように頑張りたいです。



伊達崎小2年
亀岡 梨乃 さん

第53回JA共済福島県小・中学生 交通安全ポスターコンクール

－金賞・福島中央テレビ賞－

ポスターを見て事故をなくしてもらえるように、黄色と黒色を使い目立たせながら、お酒を飲んでいる人の顔をハンドルに描き、お酒を飲んだらハンドルを握るなというメッセージを込めました。



伊達崎小3年
古山 雄大 さん

みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト (短なわとび)

－後ろ回し跳び小学3年生部門 第3位－

記録を伸ばすために、とにかく縄を速く回す練習をしました。腕が重くなりもう回せないということもありましたが、最後まで全力で回し続け、結果を残すことができました。来年は1位を目指して頑張ります。



伊達崎小6年
代表
宮田 千紗 さん

第7回小中学生まちづくり大賞 (ふくしまジュニアチャレンジ)

－活動部門 銅賞－

私たちは、町の歴史について調べ学習をしました。西山城や郡役所の歴史を知るうちに、見慣れた景色が特別なものに見えてきました。学習を通して出会った方々に感謝し、私たちにできることは何かを考えていきたいです。



釀芳中2年
大槻 武士 さん

2025 民報杯福島県中学校 新人陸上競技大会

－男子共通400m 第3位－

特設陸上部は練習の機会が少ないため自主練習に励みました。大会当日は、緊張と不安の中でも自分を信じて走り、自己ベスト更新、3位入賞を果たしました。来年は、全国大会出場を目指します。



釀芳中3年
大橋 泰樹 さん

第68回福島県中学校体育大会 陸上競技大会

－男子共通400m 第6位－

大会では、予選、準決勝、決勝と自己ベストを更新する中で、レースに挑む気持ちを強く持つ大切さを学びました。高校でも陸上を続け、中学での経験を生かしながら、インターハイでの入賞を目指します。



伊達崎小1年
蓬田 にじの さん

第71回青少年読書感想文 福島県コンクール

－佳作－

私は「ライオンのくにのネズミ」という本を読んで、勇気と思いやり、相手を知ろうとすることの大切さを知りました。相手を見ただけで判断せずに、たくさん遊んで話をしながら友達と仲良くしていきたいです。



伊達崎小2年
佐藤 琥牙 さん
(母 夏純 さん)

ふくしま絆ふれあい支援事業 「ふくしまを十七字で奏でよう」

－ふるさと部門 優秀賞－

いいざかで ふえる大人の おともだち (子)
男湯に 響く会話と 広がる輪 (母)

飯坂温泉に一人で入れるようになり、大人の友達ができた嬉しさを表現しました。飯坂で出会った人たちとの絆を大切にしながら、これからも家族で入りにいきます。



伊達崎小4年
古山 絢心 さん

第57回福島県児童作文コンクール

－準特選－

野球クラブに所属している私は、ある大会で相手チームの技ありの戦い方に目を見張り、野球の面白さを学んだ経験を作文にしました。今後は、応援から学んだことを生かし、スタメンに入れるよう頑張ります。



伊達崎小環境委員会
委員長 (6年)
高木 諒 さん

ふくしまゼロカーボンアワード2025

－小学校部門 奨励賞－

明るいときは電気を消したり、エアコンの温度をこまめに調整したり、SDGsイラスト大会を実施したりするなど、みんなで取り組んだ活動が環境に配慮した取り組みとして評価され、とても嬉しいです。



釀芳中メンバー
代表 (2年)
齋藤 琴音 さん

東北中学校体育大会 (第46回東北中学校陸上競技大会)

－女子低学年4×100m リレー 第5位－

バトンの受け渡しに苦手だった私たちは、練習を重ね感覚を掴み、大会ではチーム全員でバトンをつなぎきることができました。このメンバーでバトンをつなぎ、ベストタイムでゴールすることができとても嬉しいです。



釀芳中吹奏楽部
代表(3年:前部長)
渡邊 愛莉 さん

第63回福島県吹奏楽コンクール

－中学生小編成の部 銅賞－

県大会出場を目標に、部員全員で日々練習に励んできました。その目標を達成することができてとても嬉しいです。大会では、悔いのない演奏をすることができ、思い出に残る大会となりました。

志高く、大人への一步を 令和7年度桑折町立志式



1_町長式辞に聞き入る生徒 2_大人への一步踏み出した生徒を代表し、誓いの言葉を力強く述べる佐藤翔空さん 3_志を胸に式に臨む生徒のみなさん

町青少年育成町民会議主催の立志式が2月3日、イコーで行われ、醸芳中学校2年生93人が参加しました。立志式とは、日本古来の成人式「元服」に由来する行事で、数え年で15歳という節目の年に、将来の目標や志を立てるものです。

式では、同会議会長の高橋町長が代表生徒へ立志証書を授与し、「自分の在り方や生き方を考え、社会の一員としての自覚や責任感を持つ機会としてほしい」と式辞を述べました。誓いのことばでは、佐藤翔空さんが「これからの

未来を担う人間として自分の言動に責任を持って日々前進していく。大人社会へ一步踏み出す一人の人間として、日々

挑戦、努力し、社会に貢献できる人間となれるようここに約束する」と力強く誓いました。

式の後、伊達市出身の声優・佐々木るんさんによる記念講演が行われ、声優を目指すきっかけやプロになるまでの過程、苦労などを語りました。佐々木さんは「自分にはどんな才能があるかを考えて、他人からは何に向いていると思われていいのかをキャッチして、自分の進むべき道を見出して」とエールを贈りました。最後に、会場にいる全員で「手紙」拝啓 十五の君へ」を歌唱。生徒らは、自分自身を信じて大人への一步を踏み出しました。



4_「There are forks in life (人生にはいくつかの岐路がある)」という言葉テーマに、夢との向き合い方を語る佐々木さん 5_佐々木さんのリクエストで声優志望の生徒2人が歌詞を朗読 6_感謝と希望を込めた歌声が響き渡る会場

広告

桑折町SDGs推進町民会議と町は、SDGsの普及・啓発を目的に、「SDGs」をテーマにした川柳コンクールを実施しました。作品は、昨年7月から9月にかけて募集し、全国から2017作品（442人）の応募がありました。

審査会では、福島県川柳連盟理事のこはらとしこ先生を特別審査員に迎え、厳正な審査を行い、大人の部最優秀賞１作品、優秀賞３作品、子どもの部最優秀賞１作品、優秀賞３作品、

品の計8作品を
入選作品としま
した。表彰式が
2月13日、伊達
崎公民館で行わ
れ、同会議の佐
藤久仁夫会長が
受賞者を表彰し
ました。入選作
品は、町のSD
Gs啓発・推進
事業に活用され
ます。今後も、
同会議と町は、
さまざまな活動
を行い、家庭や
職場でのSDG
sの浸透を図つ
ていきます。

 最優秀賞

伊達市 津村 栄

最優秀賞

桑折町 岡田 侑生 禾

分別つける
この時代

桑折町
阿部 康浩

住心地
良い町作りも

桑折町 相原晴美

電氣オフ
家族仲良く

桑折町 亀岡 静子

マイボトル

桑折町
古山雄大

みんなちがう
だからすてきな

桑折町 三浦千知

かわきい
ごみをすてるな

桑折町 八卷 彩芽

給食でつながる生産者と子どもたち 地元生産者と給食を会食

町学校給食に食材を供給している地元生産者と小学校児童らによる給食の会食が1月29日、睦合小学校で行われました。この事業は、全国学校給食週間（毎年1月24日から30日）を機会に、桑折町学校給食会の会員である地元生産者と児童らが一緒に給食を食べながら交流を深め、給食の重要性や感謝の思いを育む目的で行われました。

した。当日は、野菜農家である佐藤春雄さんと佐藤勉さん、JAふくしま未来桑折営農センター職員が同校3・4年生クラスを訪問。生産者らは「野菜は、自分が凍らないようにたくさん糖分を蓄える冬が一番甘くなる。野菜の甘みを感じてみて」と紹介するなど、畑仕事や地元の話題などを話しながら交流を深めました。



▲野菜作りの話をはじめ、地元の話題、好きな食べ物の話などを通して生産者らと児童らは交流を深めました

泣き虫鬼もいじわる鬼も「鬼は外」 醸芳幼稚園・こおり青空こども園で豆まき

一年の無病息災と心の成長を願う、醸芳幼稚園とこおり青空こども園で、節分の日の豆まきが2月3日に行われました。醸芳幼稚園では、はじめに、年少・年中・年長組ごとに分かれて、節分や鬼にちなんだ歌を発表。その後、ファミリーチャーターのみなさんが、豆まきの由来を描いた紙芝居を披露しました。物語を楽しんだ

あと、鬼たちが現れると、悲鳴とともに「鬼は外！」と大きな声で豆を投げつける園児たち。同日、こおり青空こども園にも鬼が現れ、園児らは豆に見立てた紙の玉を鬼に向かって一生懸命に投げつけていました。泣いて笑った豆まき会。園舎や心の中にいた鬼たちは、子どもたちの元気な声に早々と退散していきました。





▲火事の時の逃げ方について楽しく学びました

火事から身を守るために 女性消防隊による防火教室

町女性消防隊による防火教室が1月16日、醸芳幼稚園で開かれました。当日は、女性消防隊員6人が講師を務め、「火事で煙がもくもくしているときの逃げ方」をテーマに、適切な逃げ方をクイズを交えながら披露しました。園児たちも

一緒に参加し、煙が充満した場面を想定した安全な避難の仕方や火災警報器の設置場所、警告音についてみんな確認しました。園児らは、隊員の動きを真剣に見つめ、火の怖さを想像しながら、いざというときの行動について学びました。

地域で見守る力を育てる 認知症サポーター養成講座

健康福祉課と地域包括支援センターによる「認知症サポーター養成講座」が1月23日、睦合小学校で行われました。

参加した6年生は、認知症の症状について学び、「こんな時はどんなふうに声をかける？」など、認知症の人への接し方をグループで話し合い、理解を深めました。



▲実演を通して、認知症の人への接し方をみんなで考えました

た。講座の最後には、サポーターの証であるオレンジリングやサポーターカードが配られ、「キッズサポーター」となった児童たち。「認知症の人にはどんな接し方をしたらいいのか分かった」「これからは認知症の人の立場に立って考えていきたい」などの感想が聞かれました。

広 告



心の健康を守るために 気づく・整える・相談する

心の健康は、毎日の健康の一部です。忙しさ、季節の変化、仕事や家事、家族のこと、人間関係、生活の中のいろいろな出来事で、心は知らないうちに疲れます。

心の不調は「弱さ」ではなく、体の疲れと同じように起こる自然な反応です。早めに気づいて整えることで、つらさが長引きにくくなります。

こんな変化はありませんか？

ー心と体のサイン

次のような状態が続くときは、心が休息を求めているサインかもしれません。

●気分・考え方のサイン

- 気分の落ち込みが続く、涙が出やすい
- イライラしやすい、怒りっぽくなった
- 何をしても楽しめない、やる気が出ない
- 自分を責める考えが増えた、不安が強い

●体のサイン

- 眠れない、途中で目が覚める、寝ても疲れが取れない
- 食欲がない又は食べ過ぎる
- 頭痛、肩こり、胃の不快感、動悸などが続く

●行動のサイン

- 集中できずミスが増えた
 - 家にこもりがち、連絡が億劫
 - お酒やたばこが増えた、衝動買いが増えた
- ※目安として、2週間以上続く、または生活（仕事・家事・学校）に支障が出ているときは、早めの相談が安心です。

今日からできる「こころの整え方」7つ

全部やる必要はありません。できそうなものを1つで十分です。

① 眠りのリズムを整える

眠る時刻よりも、起きる時刻をそろえるのがコツ。寝る前は明るい光やスマホを少し控えめに。

② 朝の光を浴びる

起きたらカーテンを開け、日光を数分浴びる。体内時計が整い、気分や眠りにも良い影響が出やすくなります。

③ 体を少し動かす

散歩、ラジオ体操、ストレッチなど10分から。「頑張って運動」より「毎日ちよつと」が大事です。

④ 食事は「整える」意識で

欠食が続くと、気分も揺れやすくなります。まずは温かい汁物や果物など、一品からOK。

5 つながりを保つ

友達などに会うのが難しい日は、短い連絡でも十分です。「元気？」より「最近どう？」の一言が話しやすいこともあります。

6 情報に触れる時間を減らす

ニュースやSNSで不安が強くなることもあります。1日のうち「見ない時間」を決めるのも方法です。

7 気持ちを言葉にする

メモに「つらい」「不安」「疲れた」と書くだけでも整理になります。可能なら、信頼できる人に今の状態を一言伝えてみましょう。

ミニコラム：「休む」は立派な対処です

心が疲れているときは、気合いで押し切ろうとするほど空回りしがちです。

休むことは逃げではなく、回復のための行動です。休息を取ってもつらさが続くときは、相談することが次の一歩になります。

周囲の人にできることー声かけと見守り

家族や友人、近所の方の様子が「いつもと違う」と感じたら、まずは気づいて、そっと声をかけることが支えになります。

●声かけの例

「最近どう？ 眠れてる？」
「無理してない？ 話すだけでもいいよ」
「手伝えることある？」

●避けたい言い方

（つらさを強めることがあります）

「気にしすぎ」「頑張れ」「根性で」

正論で励まし続ける、急いで結論を出す

●聴くときの「ツツ

アドバイスより、まずは話を遮らずに聴く
「そうだったんだ」「それは大変だったね」と受け止める

できる範囲で「一緒に相談先を調べる」「電話に付き添う」も有効です

相談の目安ー迷ったら相談で大丈夫

次のいずれかに当てはまる場合は、早めに医療機関や窓口へ相談することをおすすめします。

□ 2週間以上、眠れない、気分の落ち込み、不安が続く

□ 仕事・家事・学校など、日常生活に支障が出ている

□ 食事が取れない、体重変化が大きい

□ お酒が増えるなど、やめたい行動がやめづらい

□ つらさが強く、これ以上抱えるのが難しい

「こんなことで相談していいのかな」と感じる段階こそ、相談のタイミングです。早めに話すほど、選べる方法が増えます。

相談は、解決だけでなく「整理」になります。相談すると、すぐに結論を出さなければならぬわけではありません。

今の状況を一緒に整理し、休み方や受診の目安、利用できる支援につなげることもできます。

相談先

●桑折町役場 健康福祉課

（電話相談、来所相談）

電話：024（582）1134

024（582）1133

日時：月～金 8時30分～17時15分

※土日祝日、年末年始定休

●こころの健康相談統一ダイヤル

電話：0570（064）556

日時：月～金 9時～17時

18時30分～22時30分

（受付22時まで）

※土日祝日、年末年始定休

●福島いのちの電話

電話：024（536）4343

日時：年中無休 10時～22時

毎月第3土曜は10時～翌日10時ま

での24時間対応

●医療機関

かかりつけ医、心療内科、精神科など
（受診先に迷う場合は、町の窓口にご相談ください）

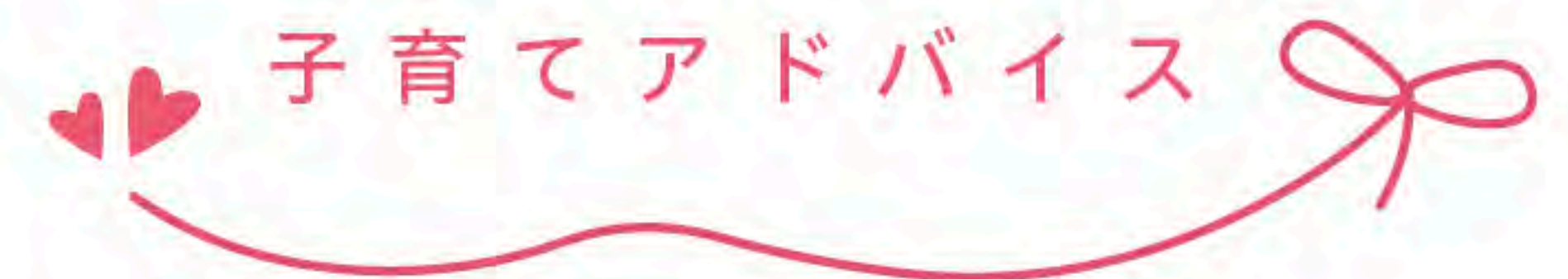
NEWS

子どもの気になる行動について

1歳6ヵ月くらいになると「自立心」が少しずつ芽生えてきます。自分で出来るが増えるにつれて、他の子と比べて変わったくせがあると「うちの子大丈夫?」「他の子と違うかも?」と心配になる人も多いと思います。

今月はそんな不安を解消できるように、子どもの言動に合った親の対応について、お答えします。

ママ・パパの子育てを応援します



Q1 人見知りがひどく、知らない人がいると親から離れない。

A 1.無理せず、その子のペースに合わせて!

人見知りは親と他人の区別ができるまでに脳が育ったという証拠です。無理に離そうとする必要はありません。逆に恐怖心が出てきてしまいます。

- ★前向きに座らせ、周囲を見せることで、興味を持たせてあげましょう。
- ★親が新しい環境や他人と楽しそうに接するところを見せることで子どもも安心できると認識します。

Q2 人や物にかみついたり、叩いたりします。

A 2.状況を確認し、気持ちに寄り添って!

かんだり、叩いたりする行動の背景には必ず理由があります。かんだり叩いたりする前の子どもの状況を見て気持ちを推測してみましょう。

- ★子どもは言葉が未熟です。親と一緒に『貸して』と言ってやり取りする場面を見せてあげましょう。
- ★かんだり叩いたりした場合はすぐに相手に謝り、感情的に叱らずどうしてその行動をとったのか理由を知りましょう。

Q3 気に入らないと、頭やおでこを壁などにぶつけてしまいます。

A 3.叱らず、クールダウンと一緒に取り組んで!

自分の思い通りにいかないと、そのイライラを行動で表現する場合があります。そんな時は

- ★抱きしめてあげましょう。
 - ★水を飲ませてあげましょう。
 - ★濡らしたタオルで顔を拭いてあげましょう。
- 気持ちが切り替わります。

少しずつ自分なりのクールダウンの仕方がわかるようになってきます。ただしなかなか改善しない場合は、専門機関に相談することも大切です。



Q4 指しゃぶりがなおらない。

A 4.注意は逆効果です。代わりの物で関心を他にに向けてみて!

まず、どんな時に指しゃぶりをするのかを観察してみましょう。指しゃぶりをしているときは、退屈しのぎや生活のリズムが乱れている、不安になっているなどが見られます。

- ★状況に合わせて手をつないだり、お絵描きや積み木遊びなど、手を使った遊びに誘い、関心を他に向けようようにしましょう。
- ★早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムが整うと毎日元気に遊べます。
- ★不安そうにしていたら、抱っこするなどスキンシップを取ってあげましょう。

【気になる行動をやめてほしい時の対処法】



○重要なポイントは、叱ることではなく、気持ちを切り替えてあげることです。

- ★お気に入りのおもちゃや音の出る物を使うなど、関心を他に向ける。
 - ★知っている歌や手遊びなどをする。
 - ★外に出る、場所を変えてみる。 など
- その他、自分のお子さんに合った切り替え方を探してみましょう。





管理栄養士のおすすめレシピ

チキンピラフ

塩分
0.4g



ここが
ポイント!



このチキンピラフは、米の上に具材と調味料をのせて炊き込むので、炊飯器ひとつで作れる手軽さが魅力です。

鶏もも肉、玉ねぎ、にんじん、長ネギ、ピーマン、トマト、コーンとたくさんの具材が入るため、彩りよく、さまざまな食感が楽しめます。

また、バターを少量入れることでコクのある味わいになり、薄味でもおいしく食べられます。

■材料（4人分）

- ・米 2カップ
- ・コンソメ 1.6 g
- ・バター 2 g
- ・鶏もも肉 60 g
- ・食塩 0.8 g
- ・長ネギ 20 g
- ・青ピーマン 20 g
- ・トマト 60 g
- ・コーン 12 g
- ・にんじん 40 g
- ・玉ねぎ 40 g

■作り方

- ① 米はといで、分量に合った水を加える。
- ② 鶏もも肉は細かく切る。長ネギ、ピーマン、にんじん、玉ねぎはみじん切り、トマトは皮を湯剥きして1 cm角に切る。
- ③ ①の米の上に、②、コンソメ、バター、コーンをのせて炊飯する。
- ④ 炊きあがったら全体をよく混ぜ、皿に盛る。

【1人分の栄養価】 エネルギー 305kcal/たんぱく質7.6 g / 脂質3.2 g / カルシウム13mg/鉄0.7mg/塩分0.4g

慢性腎臓病を進行・悪化させないためにできる事

慢性腎臓病（CKD）が公表され20年経過、新しい治療薬も開発され透析患者数は頭打ちになりました。しかし透析前のCKD患者は増加しています。改善にはCKDの共通の治療法である生活習慣、食事療法を実践し、血圧・体重測定で体調管理を行います。健診で腎機能・尿異常があればかかりつけ医を受診しましょう。



公立藤田総合病院
さとう けいじ
佐藤 啓二 先生

広 告

生涯学習だより

かんたん肉まん作りに挑戦

こおりキッズスクール

こおりキッズスクール「かんたん肉まんを作ろう」が1月25日、伊達崎公民館で行われ、20人が肉まん作りに挑戦しました。肉まんは生地作りが大切で、強力粉・薄力粉などの粉の中にふっくらふくらむためのイーストを混ぜ込みます。その生地を伸ばしながらこねること約10分。子どもたちはパン職人のようにがんばってこね、やわらかい生地ができました。さらにそれを2回発酵して肉まんの生地が完成。4分割した生地を薄く伸ばして具材を包みます。「シューマイ」を入れた肉まん、あんを入れたあんまんを作りました。湯気の立った蒸し器に入れて、蒸すこと約15分。おいしそうなおいとともにふっくらした肉まん・あんまんができました。「すごい、ふくらんでいる」「ぼくの肉まん、おいしそう」と子どもたちは笑顔で肉まんを口にしました。寒い日でしたが、会場は、ほっこり暖かな雰囲気になりました。



幸せな一年を願って

伊達崎小で「だんごさし」

小正月の伝統行事「だんごさし」が1月10日、伊達崎小学校で行われ、児童約20人が参加しました。町青少年健全育成町民会議伊達崎地区部会との共催。子どもたちは、赤・黄・緑など色とりどりの団子を手に取り、声を弾ませながら、丁寧にミズキの枝へ飾り付けを行いました。団子のほかにも、小判や宝船などの縁起物の飾りも取り付け、会場は華やかな雰囲気に包まれました。



手と手で話す手話体験

初めての手話体験講座

成人講座「初めての手話体験講座」が2月2日、イコーゼで行われ、24人が参加しました。

県聴覚障害者協会の長谷川尚人さんと齋藤和代さんを講師に、手話によるあいさつや自己紹介などの基本的な表現を楽しく体験しました。

参加者からは「指の動きが難しかった」「日常会話をもう少し知りたい」「機会があればまた参加したい」などの声が寄せられました。



図書だより

図書館よも〜よ ☎582-5388

今月のおすすめ

『ほっこり心が温まる・・・』

◆『コンビニ兄弟 1～5巻』新潮社 町田 その子 // 著

九州だけに展開するコンビニチェーン「テンダネス」。その名物店「門司港こがね村店」で働くパート店員の日々の楽しみは、勤勉なのに老若男女を意図せず籠絡してしまう魔性のフェロモン店長・志波三彦を観察すること。なぜなら今日もまた、彼の元には超個性的な常連客（兄含む）たちと、悩みを抱えた人がやってくるのだから……。大切な想いをささやかにつなぐ場所、名物店長と個性的な客たちが集う小さなコンビニの心温まる物語。

本屋大賞受賞作家 町田その子による人気お仕事小説シリーズを最新作の5巻まで揃えてあります。文庫サイズですので持ち歩いて隙間時間に読みたい方にもピッタリです。



一般書

◆『やさしいさんぱつや』小学館 くすのきしげのり // 作 横須賀 香 // 絵

——主人公の少年の町には、おじいさんが長い間続いている散髪屋があります。その空間は心地よい安らぎを与えてくれて、町の人にとってずっと守り続けていきたい大切な場所でもありました——

町の人にとっての居心地のいい場所、この物語では、それが、おじいさんの散髪屋です。

昔からあったこういう場所をずっと守っていききたいという作者の思いが詰まった物語で「相手のことを大切に思う優しさ」について、強いメッセージが込められた作品です。

子どもの繊細な心に寄りそう、温かく心温まる物語を紡ぐ、くすのきしげのりの最新絵本です。



児童書

Information

歴史だより

火災から文化財を守れ

「第72回文化財防火デー」防火訓練



文化財防火訓練が1月25日、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で行われ、町消防団や一般参加者ら約120人が訓練に参加しました。

26日の文化財防火デーに併せて行われた訓練では、旧伊達郡役所の2階バルコニー付近から火災が発生したことを想定し、入館者の避難誘導、通報、初期消火、消防署・消防団による放水訓練などが行われ、町のシンボルである旧伊達郡役所を守るための体制を確認しました。

訓練後は、伊達地方少年消防クラブや女性防火クラブらによる消火体験や放水体験が行われ、文化財保護啓発と、防災・防火の啓発活動が行われました。

マルベリーこおり 図書館 ☎582-3129

基礎スキー教室を開催！

桑折町中央公民館共催

1月17日からみやぎ蔵王白石スキー場にて基礎スキー教室を開催しました。全4回の教室には、スタッフ合わせて延べ74人が参加しました。教室では、MZ白石プロスキー&スノーボードスクール講師やクラブスタッフによる指導のもと、参加者の経験や技術に応じたレベル別のレッスンを実施。参加者は、楽しく安全に滑るためのグレンデマナーや基礎技術指導を受け、熱心に練習に励んでいました。今シーズン、初めてスキーをした参加者も回を重ねるごとに上達し、「スキー楽しい!」「みんなともっと滑りたい!」との声上がり、冬のスポーツを存分に満喫していました。



Dreams come true.

わたしの夢



阿部 琢磨^{たくま}さん 釧芳中3年生

心と体を支えるトレーナー 自分の経験を選手のサポートに生かして

私の夢は、スポーツ選手のトレーナーなど、スポーツ関係の仕事に就くことです。これまで、ミニバスや野球、陸上などさまざまなスポーツを経験してきた中で、選手をサポートする人たちの力を感じてきました。自分がけがをしたとき、正しい処置の仕方やケガをした中でもできる運動などを教わり、心の支えとなった経験があります。中学3年となり将来を考える中で、私も選手の気持ちに寄り添えるトレーナーになりたいと思うようになり、スポーツ健康を学べる高校に進学する予定です。卒業後は大学でより専門的な知識を身につけたいです。今は、食生活を見直したり、自主的に体を動かしたりしながら、まずは自分が健康でいる努力をしています。私の座右の銘は「有言実行」です。このインタビューをとおして話したからには、必ず夢を達成したいと思います。

まちのお知らせ

Town information.

マイナンバーカード申請サポート

出張申請受付を行っています

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！
完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象

企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）

■対応日時

原則、平日 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 16:30の間

■お願い

会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体でお願いします。

閼税務住民課 住民国保係 ☎582-2114

広 告

地方では少子高齢化や労働力人口の減少に加え、若年女性の都市部への流出が課題となっています。福島県、桑折町においても持続可能な社会の実現に向け、女性があらゆる分野で個性と能力を発揮できる環境づくりを進めています。

今回は、各分野での取り組みを紹介します。ぜひ家庭や職場などで話し合ってみましょう。

家族経営協定

家族1人1人が互いに個性と能力を認め合い、かけがえのない対等な仲間として、農林漁業の経営を“共同経営的に”営むものです。

目的

- 家族の話し合いと男女の共同参画によって充実・成長していくため
- 家族1人1人が尊重される家族関係をつくっていくため
- 次の世代にスムーズに引き継いでいくため

▶家族経営協定は、法人経営におけるワーク・ライフ・バランスの実現に有効な手段でもあります。町でも、現在まで30家族が協定を締結しています。興味・関心がある人は、産業振興課（☎582-2126）まで問い合わせください。詳しくは、農林水産省ホームページをご確認ください。



「ふくしま女性活躍応援宣言」への賛同企業・団体を募集しています

福島県と県内のさまざまな分野の企業・団体が官民一体となって、あらゆる分野で女性が活躍できる環境づくりを進めるために、「ふくしま女性活躍応援会議（平成28年）」を設立し、「ふくしま女性活躍応援宣言」を発表しています。同会議では、女性活躍推進に向けた取り組みの輪をさらに広げるため、本宣言に賛同し、女性活躍推進に積極的に取り組んでくださる企業・団体を募集しています。申込方法や賛同企業・団体のメリットなどは、福島県ホームページをご確認ください。

閩福島県共生社会・女性活躍推進課 ☎521-7188

女性活躍
推進



町のごみ排出量

※1人1日あたりの排出量

令和8年1月 **831g**

(令和7年1月 877g)

前月比-216g
前年比-46g

分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合
のホームページで検索



広 告

3 MARCH 2026 くらしのカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
●成人講座 ●子ども向け講座 ☎休日当番医 ◆母子手帳交付 すくすくの日 ☎582-6045へ事前にご連絡 ください。 			4 ・広報3月号発行 ・お知らせ版発行 申告相談日 (半田地区)	5	6◆ 洗顔からの美肌 レッスン講座	7
8 ・消防団初午 ・キッズスクール閉 講式・キーホル ダー作り ☎なかのクリニック ☎575-2246	9 申告相談日 (伊達崎地区)	10 ・1歳6ヵ月健診 (R6年7・8月生) ・健康チェック& 相談日	11	12	13◆ ・中学校卒業式 ・「99歳母と暮ら せば」上映会	14
15 ☎すずき医院 ☎575-2563	16 申告相談日	17 ・3歳6ヵ月健診 (R4年7・8・9月生) ・大人の社会科見学	18 ・お知らせ版発行 ・幼稚園修了式	19	20 春分の日 ☎伊達セントラルクリニック ☎575-3215 ☎だて耳鼻科パオパオ ☎583-4178	21
22 ☎武田小児科 ☎575-2439	23 小学校卒業式	24 すくすくカフェ	25	26 ・健康安全運転講座 ・食生活改善推進員 ヘルスアップチー ム健康研修会	27◆	28
29 ☎さとう整形外科内科 クリニック ☎572-7606	30	31	1 ・広報4月号発行 ・お知らせ版発行	2	3◆	4

【編集後記】

▶年末は断捨離だ！と思い過ぎて早2ヶ月。新年度を見据えた3月こそ断捨離だ！と思い直していますが、計画より行動、考えるより先に動くという意識を今年は定着させたいと思っています。先日、もう遊ばなくなったおもちゃを捨てようとしていると「かわいそうだから捨てないで」と息子に言われました。つぶされ燃やされるという何かで見たイメージがあるようで、比較的純粋な私も、何となく生き物っぽいおもちゃだけそっと棚にもどしました（大越）

◆人口（前月比）2月1日付

人口	計	10,789人	(-13)
	男	5,268人	(-2)
	女	5,521人	(-11)
世帯数		4,671世帯	(-6)
転入	18人	出生	5人
転出	13人	死亡	23人

◆町税納付は口座振替で！

町税の納税は、納め忘れの心配がいない「口座振替」が便利です。税務住民課で申し込みができます。

☎税務住民課 収納係
☎582-2114

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日午後5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。